泥だらけで頑張りました！ 河北小田植え

5月26日㈮、河北小学校の全校児童が田植えを行いました。

これは「さとほる学習」と名付けられた総合学習の一環で、地域の産業を学ぶ取り組みとして、北海道農業士の森啓介さん（㈱MORI FARM代表）とともに、秋の収穫まで米作りを行います。

田植えでは、最初に5・6年生が「ころがし」という農機具で目印をつけてから、全校児童で苗を植えました。

田んぼの中で泥だらけになっても、楽しそうに丁寧に1株ずつ植える様子が伺えました。

群来に期待！ ニシンの稚魚を放流

6月6日㈫、町内3漁港（上ノ国・石崎・小砂子）において、檜山管内水産振興対策協議会主催のニシンの稚魚放流が今年も行われ、それぞれに地元漁師や漁協職員などが立ち合いました。

上ノ国漁港では約11万2千尾を海へ放流し、石崎漁港では約1万尾、小砂子漁港では約5万4千尾を海面に慣れさせて放流する海中飼育放流が行われました。

ニシンは2～3年で戻るとも言われているので、今回放流されたニシンが上ノ国に戻ることを願っています。

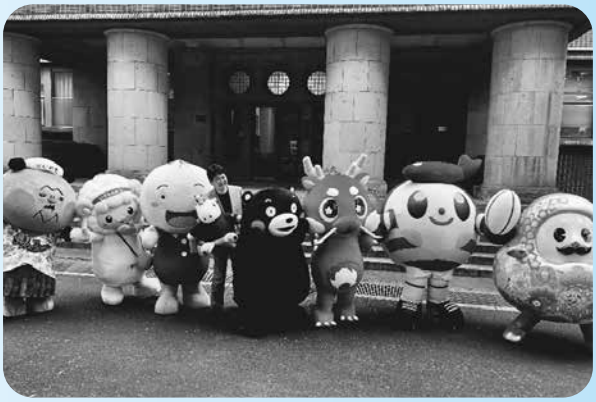
ナイスショットたくさん！ パークゴルフ交流大会

6月8日㈭、天の川ふれあい広場パークゴルフ場で毎年恒例の「第10回赤い羽根共同募金パークゴルフ交流大会」が開催され、町民31名が参加しました。

開会式では、昨年優勝者の谷さん、森さんから優勝杯の返還が行われたあと、9組に分かれて優勝を目指し36ホールをラウンドしました。

当日は日差しが強く暑い日となりましたが、参加者のみなさんは暑さも一緒に飛ばすかのようなナイスショットをたくさん決めていました。

上ノ国町をPR！ カミゴン、東京大学へ行く



©2010熊本県くまモン

6月10日㈯、東京都で開催された「東大駒場リサーチキャンパス公開2023」内のイベント「連携協定自治体マルシェ」にて上ノ国町をPRしました。

事前申込者数が2，500人を超える大型イベントで、当日は親子連れや学生が大勢来場され、上ノ国町のブースにも、たくさんの人が訪れました。

また、カミゴンも大人気で、各自治体のゆるキャラたちと一緒に、会場を大いに盛り上げてくれました。